

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	人文科学研究科 史学専攻	2026年度
専門科目	博士後期課程《一般・社会人》	春季

《日本史分野》

《解答又は解答例》

- 1 論述形式の設題であるため、具体的な解答を示すことはしない。受験者が自らの研究領域をふまえて、縄文時代の研究史や各種の資料にもとづいて、環境、生業、集落、墓制、交流等の知見から、当時の社会をどのように理解しているかを適切に説明し、その特質を示してほしい。
- 2 論文形式の設題であるため具体的な解答例を示すことはできません。母法である唐令の規程を参照しながら、日本令で変更された点についても留意すること。調・庸についてはまずその内容を説明した上で、基本的には唐と同じ人頭税でありながら、実例によれば必ずしもそうではなく、令制以前の慣習を引きずっていること、中国的な調庸は機内にのみ適用されていたことなどを論述することが期待されている。一方、稲の収取については、日本では唐と異なり地方の収入とされ、租は田率賦課であったこと、低額である上に使用されることは稀で、租税の意味は本来小さかったこと、したがって地方の租税の主体は出挙であったことを整合的に論述することが期待されている。なお田租や出挙について、令制以前の起源にまで触れるとなお良い。
- 3 論述形式の設題であるため、具体的な解答例を示すことはできません。解答にあたっては、①一二世紀から一四世紀の日中関係に関する基礎的な理解を示すこと、②課題文に対する正確な理解を示すこと、③自らの考えを適切に示すこと、の3点を意識して論述してください。
- 4 論述形式の設題であるため、具体的な解答例を示すことはできません。解答にあたっては、①豊臣期を中心とする日本近世の国際関係に関する基礎的な理解を示すこと、②課題文に対する正確な理解を示すこと、③自らの考えを適切に示すこと、の3点を意識して論述してください。
- 5 論述形式の設題であるため、具体的な解答を示すことはしない。写実主義や言文一致体の小説の流行、自然主義の台頭など明治期の文学をめぐるさまざまな動きがあったが、こうした事例をとりあげ、さらにこれらを組み合わせることで、論理的な議論が展開されていることが望まれる。

《出題の意図》

- 1 考古学の分野において幅広い知識をもち、修士課程よりもさらに深く考究する能力があるかどうかを問うものである。
- 2 日本史学（日本古代史）の重要事項に関する基本的な理解があるかどうか問うものである。
- 3 日本史学（日本中世史）の重要事項に関する基本的な理解があるかどうか問うものである。
- 4 日本史学（日本近世史）の重要事項に関する基本的な理解があるかどうか問うものである。
- 5 近代・現代の歴史に関する基本的な知識を有し、論理的な説明できるかを問うものである。

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	人文科学研究科 史学専攻	2026年度
専門科目	博士後期課程《一般・社会人》	春季

《東洋史分野》

1

《解答又は解答例》

問一 玄宗成都に幸するに、給事中裴士淹従ふ。士淹聡悟にして柔順、頗る歴代史に精し。玄宗甚だ之を愛し、馬上借に行くに、備さに顧問するを得。時に肅宗鳳翔に在りて、大いに除斥すること有る毎に、輒ち啓聞す。房琯将と為るに、玄宗曰はく、「此以て賊を破るに足らざるなり」と。諸将を歴評するに、並びて云ふ、「賊を滅ぼす材に非ず」と。又曰はく、「若し姚崇在らば、賊滅ぼすに足らざるなり」と。困りて崇の宏才遠略を言ふ。語宋璟に及ぶに、玄宗悦ばずして曰はく、「彼直を売り以て名を沽ふのみ」と。数十余人を歴るに、皆其の目に当たる。張九齡に至り、亦た甚だ之を重んず。李林甫を言ふに及び、曰はく、「賢を妬み能を嫉むこと、亦た敵する無きなり」と。士淹困りて啓して曰はく、「既に知れば、陛下何ぞ之を用ふること久しきか」と。玄宗黙然として応へず。

問二 安史の乱について具体的に説明することが求められます。

問三 玄宗朝における科挙官僚と貴族官僚の関係について、張九齡と李林甫を代表としながら論ずること、また、玄宗が張九齡を退けて李林甫を重用した結果として起こった事態について説明することが求められます。

《出題の意図》

『大唐新語』を題材に、史料読解力と史料に関する知識、歴史的事象に関する知識について問うことで、研究に必要な知見の有無を確認する。

2

《解答又は解答例》

問一 南陽地区は後漢光武帝劉秀の登場したところであり、経済文化上独特の条件を有しているだけでなく、(中国)建国後には数十基におよぶ漢画像石墓が発掘され、あわせて千件に近い漢代の画像石が収集された。それらは県ごとに確認されているが、主要なものは南陽・唐河・鄭州・方城一帯に集中している。

南陽漢代画像石墓の多くは磚石混用の建築で、石積みの構造のものも若干みられる。持ち送り式天井・ドーム式天井・平天井がある。墓門・多墓室・耳室なども付置し、墓葬によっては甬道をもつ。画像の多くは、門框・門楣・門扉、および墓室内の門楣・墓壁・石柱・墓頂蓋石などに線刻されている。画像の内容は豪族たちの生活・太古の神話・歴史故事・祥瑞辟邪・舞楽百戯・天文図象などで、平面に陰線で彫刻を施したもの、窪んだ面に線刻や浅い浮彫を施したもの、浅い浮彫と陰刻を併用したものなど、多彩な手法が採用されている。構造はすっきり

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	人文科学研究科 史学専攻	2026年度
専門科目	博士後期課程《一般・社会人》	春季

として簡潔である。特に、造形は細微にとらわれず、神力を秘め、深遠雄大かつ素朴豪放な芸術的風格が感じられる。

問二 漢代画像石は石室内・石祠堂・石闕などの石造建築物の石材部に彫刻が施されたものであり、その画題としては車馬出行図・神獣図・楽部百戯図・宴会図があり、漢代の社会構造・制度や経済活動、風俗習慣や人々の生活状況、意識形態などを探究するために不可欠な資料となりうるものである。

20世紀の初頭にフランスのシャバンヌ・セガランや日本の関野貞らにより、山東・河南・四川などにおいて漢代の画像石が調査・記録されたのを皮切りに、その後黄河・長江流域にとどまらず甘粛や雲南など中国各地で続々と発見され、歴史学にとどまらず美術史や考古学の対象としても位置付けられるようになった。特に地域区分と編年の研究が進み、考古学の研究水準を向上させるとともに上述のごとく分野を超えた研究方向にも展開可能であることから、総合科学全体としての研究水準の底上げにも貢献するものとなっている。

《出題の意図》

漢代南陽画像石に関する中国語の説明を題材として翻訳に係る知識をみるとともに、漢代画像石研究の発展性に対する研究的知見の有無を確認する。

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	人文科学研究科 史学専攻	2026年度
専門科目	博士後期課程《一般・社会人》	春季

《西洋史分野》

《解答又は解答例》

- 1 スパルタの国家体制は、リュクルゴスなる人物がこれを制定したとする伝承に基づき「リュクルゴス体制」と呼ばれる。制度的特徴の一つは、市民の最高意思決定機関として民会が存在する一方で、軍事指揮権と祭祀の管轄権を有する二人の世襲の王が存在するとともに、王と王を支える有力者たちが長老会と称される諮問機関を形成して国家運営を主導する、混合政体のしくみが採用されたことである。さらにスパルタでは、市民同士の平等が原則とされた反面、スパルタにより征服された人々はヘイロタイの身分に落とされ、隷属農民として貢納を義務づけられた。少数の市民により多数のヘイロタイを支配する必要から、市民生活は軍事を最優先するかたちで統制された。誕生の時点で行われる身体検査を通過した者だけが養育の対象となり、わけても男子の場合は、幼少期から集団生活の中で厳しい軍事訓練に専念し、成人後も仲間同士で毎晩共同の食事を営むことで、団結の強い市民団を形成することが図られた。また、国外から物資や人が流入することにより市民団の団結が弱まることを避けるべく、対外関係においては鎖国に近い政策がとられた点も特徴的である。
- 2 （論述形式の設題であるため、具体的な解答を示すことはできません。「一七世紀の危機」の背景にある人口過多、寒冷化、技術的停滞、銀インフレ、宗教対立などについて言及した上、宗教戦争や疫病による人口減少と政治の専制化を招き、一八世紀前半まで経済的・社会的に停滞したのに対し、大西洋沿岸部では商業革命や宗教的寛容によって危機をいち早く克服し、一八世紀の経済的繁栄と市民社会の発展を準備した点を具体的に論じることが期待されます。）
- 3 （論述形式の設題であるため、具体的な解答を示すことはできません。キリスト教宣教師とイギリス帝国支配の複雑なかかわりあい（相補的な関係のみならず、両者が対立する側面も含む）や、植民地社会における非白人によるキリスト教文化の受容・反発、キリスト教の植民地ナショナリズムに対する影響などを具体的に論じることが期待されます。）

《出題の意図》

- 1 古代ヨーロッパ史にかんする基本事項について、博士課程の学生として自立して研究できる能力があるかどうかを問う問題である。
- 2 初期近代ヨーロッパ史にかんする基本事項について、博士課程の学生として自立して研究できる能力があるかどうかを問う問題である。
- 3 イギリスおよびイギリス帝国の歴史にかんする基本事項について、博士課程の学生として自立して研究できる能力があるかどうかを問う問題である。